

平成21年度シラバス	学年・期間・区分	1年次・通年・A群
	対象学科・専攻	情報工学科
情報処理 (Information Processing)	担当教員	榎園 茂 (Enokizono, Shigeru)
	教員室	情報工学科棟4階 (Tel. 42-9097)
	E-Mail	enokiz@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 履修単位 / 2単位	
週あたりの学習時間と回数	授業(100分) × 30回	
〔本科目の目標〕 本科目の目標は、コンピュータの操作方法に慣れること、また現在幅広く利用されオブジェクト指向言語の基礎にもなっているC言語を使ったプログラミングに習熟することである。		
〔本科目の位置付け〕 本科目は、2年次に開講されている情報処理の基礎となる。		
〔学習上の留意点〕 コンピュータを使って身近な問題を解くには、問題を解く手順を学習すると同時に、手順をコンピュータに分る言葉で書く、いわゆるプログラムの書き方を正確に理解する必要がある。本科目では問題の解法手順とプログラムの書き方について学習する。教科書にはプログラム言語の大切な決まり事(文法)や、よく利用される解法手順(アルゴリズム)などが整理して示されている。一つ一つ確実に理解し、記憶し、更に応用できる力を養ってほしい。授業では毎回授業内容をまとめたプリントを配布する。順序良く整理しておくこと。演習の時間も多いため出席を重視する。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1. Cプログラミングの準備	10	情報処理で学ぶこと、パソコンシステムについて、プログラミング言語とは、Cプログラムの概略、変数、代入文について理解する。
2. プログラムの実行順序の制御 - 前期中間試験 -	4	選択 (if 文, if ~ else 文, if 文のネスティング) について理解する。 授業項目 1. ~ 2. の前半部について達成度を確認する。
- 前期期末試験 -	16	選択 (switch ~ case 文) の書法を理解し、応用できる。 繰り返し (for 文, while 文, do ~ while 文) を理解し、応用できる。 授業項目 2. の後半部について達成度を確認する。
3. やさしいプログラミング	6	アルゴリズムとは、最適な解を求める方法について理解できる。 文字列の取扱い方法などについて理解する。
4. 関数 - 後期中間試験 -	8	標準ライブラリ関数の使い方、自作の関数の作り方を理解する。 授業項目 3. ~ 4. の前半部について達成度を確認する。
5. 変数の型 - 後期期末試験 - 試験答案の返却・解説	8	データの受渡し方、実引数、仮引数、プログラムの段階的詳細化などを理解する。 変数の宣言と型、基本データ型 (char 型, int 型, float, double 型), 限定子、変数の初期化法、型の変換方法、ローカル変数とグローバル変数、変数の有効範囲と持続期間などについて理解する。 授業項目 4. の後半部 ~ 5. ついて達成度を確認する。 各試験において間違った部分を理解できる。
〔教科書〕 C・C++入門 松林, 小阪, 前田, 館泉, 柚賀, 北村, 東共著 森北出版		
〔参考書・補助教材〕 毎時間要点をまとめたプリントを配布する。		
〔成績評価の基準〕 中間試験および期末試験成績 (80%) + レポート等 (20%) - 授業態度等 (上限30%)		
〔本科 (準学士課程) の学習教育目標との関連〕 3-c		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕		
〔JABEEとの関連〕		